



会津若松

市政だより

昭和26年7月6日第三種郵便物認可

157号

昭和38年11月1日発行

発行所 会津若松市
発行人 桜木幸次
編集 広報係
定価 5円

毎月1日・15日発行

市役所の執務時間が
変わりました。
11月1日から…
平日 午前8時30分から
午後4時30分まで
土曜日は午前8時30分
から午後0時30分まで



明日の群像 No. 13

会津の冬は早い。五色に色どる紅葉が山をうめつくせば、冷たい北風がまちをすっかり北国の情緒に包んでしまう。

ころした木枯しの吹くまちから、お経とりんしょうの音が聞こえてくる。これは会津仏教会のたくはつ行脚で、遠く明治42年から今日まで、休むことなく続けられているものです。この行脚で集ったお金は、会津仏教会で運営管理している津和光寮の資金にあてられる。身寄りのない人、行き倒れの人、1年間に約2,000人の人々が、この施設で恩恵をうけている、本市に於ける唯一の社会福祉施設です。1年に2回、52カ寺のお坊さんたちが毎年この行脚を行っているものです。時にはこじき僧にまちがえられながらも、今日も社会の谷間に生活する人々のために布施するという助け合いの暖かい心を、一人でも多くの市民の方々に理解してもらうために、今日もお坊さんたちの行脚の姿が見られるのです。

行脚で社会奉仕を 続ける会津仏教会

写真=和光寮の資金にと行脚するお坊さん

催し案内

■区高校演劇発表会
十一月二十四日(日)午前九時から市民会館において、高校演劇連盟主催による会津地区高校演劇発表会が行なわれる。参加校は九校、各校の熱演が期待される。

■文楽公演
十一月十二日(火)午後六時から市民会館において人形浄瑠璃文楽の公演がある。これは財団法人文楽協会の誕生記念地方公演である。入場料は前売三百円、指定券百円(公民館で受付)当日券四百円

第3回農業祭が開かれます

11月14日~16日まで
十一月十四日から十六日までの三日間、第三回会津若松市農業祭を開催いたします。

■収穫感謝のつどい
十一月十四日(木)午前十時、午後二時の二回
市民会館

十一月十五日(金)午前十一時、湊中学校講堂

十一月十六日(土)午前十一時、大戸中学校講堂

- 演芸
- 1、腹話術 畑 良一
 - 2、音楽珍芸 轟 ススム
 - 3、歌謡漫才 豊田ミノル
 - 4、奇術 松林 桂右
 - 5、浪曲界の横綱 高橋 妙子
 - 6、歌謡民謡ショー 相模 太郎

■農産物品評会
市民会館四階

■菊、オモト、盆栽、生花などの展示会
市民会館前広場およびロビー。

■生活改良展(衣、食)
市内生活改良推進員作品、市民会館三階婦人講習室

また、十四日~十六日までの三日間、各会場に農事相談所を併設いたしますのでご利用下さい。

新たな計画で道路網の整備

≡ 14ヵ線で合理的な都市造り ≡



地域開発のパロメーターといわれる道路の整備、これは、日本の経済の進展とともに、大きな課題であるといわねばなりません。本市でも、年々道路網の整備開発が着実に進められており、さらには、当市の発展を強力に推進するため、道路網の整備が急がれるのです。

今日まで、行なわれた道路整備の計画は、昭和八年に計画されたもので、最近

今日まで、行なわれた道路整備の計画は、昭和八年に計画されたもので、最近



課では昭和三十八年九月六日に都市計画街路の計画を変更した。これは、目下進められている一級国道新潟—平線、二級国道米沢—宇都宮線の道路の整備にともなって決められたものです。これらの国道が、会津若松市を中心として整備される現状にあるため市の道路を国道と結びつけ、産業的に

も合理的な道路網の整備を進めようとするものです。

本市は城下町としての性格から時代にふさわしい道路ではないため、今度の計画では近代都市として道路が建設され、また、市街地

新しく決つた道路計画

路線	延長	約
会津若松駅・東山線	22	3,980m
亀賀・門田線	22	5,400
稲荷山・徳久線	16	5,110
千石町・高瀬線	16	4,630
上荒久田・飯寺線	16	5,400
八幡・関下線	16	770
八角・弁天下線	16	850
上蚕養・鶴ヶ城線	12	1,820
谷地・高見線	12	2,920
八・鍛冶屋敷線	12	7,650
東・建福寺前線	12	1,230
西若松駅・小田橋線	12	2,192
黒岩・橋本線	12	6,320
西若松駅・幕の内線	12	940

の幅員を広げることにも計画され、とくに、この幅員の問題は、急激に増加している車輛の対策に、根本的な道路整備を進めるためのものであります。

この新しい計画では、会津若松駅—東山間は幅員二十二メートルの新しい道路が建設され、また、市街地

この道路計画は新しい近代都市整備を急ぐ本市が、道路の整備を今後さらに進めるため、充分に検討された道路計画であるのです。

広場



今年の文化功労賞を受ける

阿部 務さん 今年、愛されて、まことに壮健そのもの、七十三才とは見えない元気な姿でした。

十月のおもな あしあと

- 十月(日)と七日(月) 六日(日)と七日(月)
 - ▼県合唱コンクール
 - ▼若松地区別労務講座
 - ▼県観光物産展
 - ▼会津地区社会教育研究協議会
 - ▼県、県教委、会津若松市、同市教委主催で、市公民館に会津地方の社会教育関係者約三百人が出席して開かれた。
 - ▼し尿処理場が落成
- 十月十一日(金)と十二日(土)
 - ▼東北国語教育研究会
- 十月十六日(水)と十七日(木)
 - ▼会津地区社会教育研究協議会
- 十月十八日(火)と十九日(水)
 - ▼若松地区別労務講座
 - ▼県観光物産展
- 十月二十日(金)と二十一日(土)
 - ▼市市民会館で三カ年事業としての完成式が、総工費一億六千六百万円、昭和五十年の本市の推定人口を予想して計画された最新式の処理場。

磐西線の電化に明るい見通し

磯崎国鉄副総裁は22日夜、河合仙鉄局長と共に来若。23日本市役所市長室で会津地方の市町村代表から磐西線電化促進の陳情を受け、「磐西線の電化は来年度着工はむづかしいが、40年からの第3次5カ年計画に繰り込まれる予定である。会津地方のめざましい観光・産業開発から、地元の受入れ体制次第では非常に有望な路線である」と語った。



話題の
焦点



好評のうちに観光と物産展終る

第2回福島県の観光と物産展は、10月8日から13日まで東京三越本店で開かれ、本市からは42の業者が参加しました。6日間の総売上高は約450万円で、そのうち会津が60パーセントを占めました。特に会津名産の漆器や民芸品、それに山菜食品に好評を博し、会津だけで構成した3カ所の実演所には、身動きできない程の人気を呼びました。

鶴ヶ丘に十一月下旬完成予定

期待を集めて児童館を建設

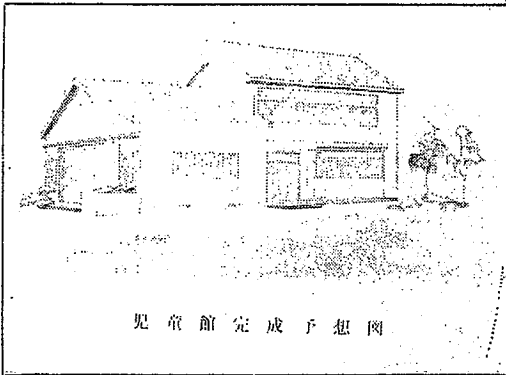
福祉都市を旨とする本市が、昭和三十八年度事業として、

国・県補助対象(国八十万、県八十万)として認可され

た「児童館」の建設は、十一月下旬完成の予定で、鶴

ヶ丘児童公園に建設工事が着々と進められています。

鶴ヶ丘の住宅街は、年々を設けます。完成後は、直す。その他一般児童の各種近代的な文化住宅団地街にち利用できるよう準備がクラブ活動の指導なども行生まれ変わっております。三名の職員がが、このほど、鶴ヶ丘団地常指に指導にあたるもので内に、東北で初めての児童館です。この児童館では、毎日館が建設されます。

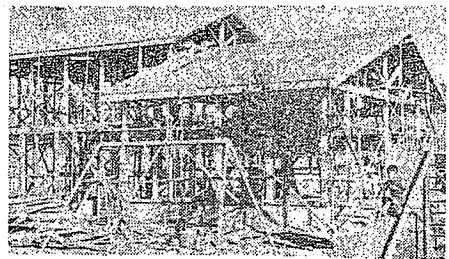


児童館完成予想図

この児童館は、児童の厚生施設として、児童の情操を養い、健全な児童の育成を目的としているものです。こうした施設は、従来の角度からはまったく変わって方向の施設であります。予算は約四百六十万円で、鶴ヶ丘つばくる公園内に建設されるも午前八時三十分から午後五時まで、家庭から放置され

建物は木造モルタル一部二階建、面積は二百四十平方キロメートル。内部の施設は、一階が遊戯室、事務室、管理入室、ボイラー室、二階に図書館、集會室など

く叫ばれている現在、この児童館の働きは大きいものと思われまます。また、会津は雪による児童の遊びが室



写真=建設が進められている児童館

とくに最近青少年の不良化防止など、その対策が強化されています。

知りたこと

(問) 現在非常に生活が困窮しておる者です。国民年金保険料など免除していただくのと聞きまして、その手続きなどは、申請をすることによって免除の基準に

国民年金保険料を免除して

届出書、申請書は、生活扶助や母子福祉年金、障害福祉年金を受

ては二通りの方法があります。第一は、生活扶助や母子福祉年金、障害福祉年金を受

ける方については、第二は、それ以外のお問合せ下さい。

施設めぐり

会津若松市のたくましい建設の姿を、広く市民の方に見ていただくため、施設めぐりを、実施しますので、希望される方は申込み下さい。

実施日 11月11日~11月13日の3日間
時間 午前10時~午後3時まで
見学施設 浄水場・食肉センター・し尿処理場・鶴ヶ丘団地・市営自動車学校

切 11月8日まで必着のこと
申込方法 ☆会津若松市民(子供さんは御遠慮下さい)
☆官製ハガキに、希望の日と;住所、氏名を明記して申込んで下さい
☆申込み先は市役所秘書課・広報係 なお、申込み者が多数の場合は、着順により打切ります。受付けた方には係からめぐりの日、集合場所をお知らせします。

今年度の財政事情は

約十億六千百万円

会津若松市は、新しい住みよい都市を目指して、たくましく都市改造が進められております。

こうした着実に進む市政も、合理的な予算の運用と計画によるものといえるでしょう。そこで今年度四月から九月までを中心に財政の現状をお知らせします。

三十八年度の予算額は当初 約九億五千七百万円と追加予算の約一億四百万円とを合せて、約十億六千百万円と昨年に引続き大型予算となっています。

そのふりわけは文教関係に約一億八千八百万円、社会福祉関係に約二億三百万円、保健衛生に八千九百万円、産業経済関係に八千四百万円と意欲的な予算が組まれております。

別な角度から市の予算を見てみますと、総予算額に対する投資的経費の割合が三十三パーセントです。投資的経費が多いことは適正なお金の使い方といえます。しかし、適正なお金の使い方ですがふところの方はどうかといえますと多くの事業を行っているため一口にいって苦しいのです。

都市整備費に重点

学校建設など

裏面に掲げた中から主なものをひろってみますと鶴ヶ丘改良住宅の五千三百万円を始め、公営住宅の二千

六百万円、し尿消化そう整備の四千三百八十万円、食肉センター建設のための三千五百二十万円、さらには行仁小、双瀧小、大戸小、二中、湊中、一箕中の各校を含む増改築のための義務教育施設費が六千五百七十万円、火葬場建設の五百七十万円などの事業が重点的に行なわれるのが目立っております。

幅の広い市の収入

さて、支出に対して収入はどうなっているかといえますと、総額の大体半分が市税(約五億五千万円)で占められており、次いで地方交付税や国、県からの補助金、国などから借りる長期の借入金(市債)などが目立っております。

このうち、地方交付税は、国が全国の市町村の力の違いからくるでこぼこをなくする目的で、一定のものをさして額をきめ、市町村に与えるものですから、仕事を余計にやるからといって余分に貰えるものではありませんし、補助金も特別に定められた事業に、補助するという性質のお金ですから自ら使い道がきまっています。

さらに市債にしても定められた事業を行なう時にのみ許可になるものです。それ以外の事業 行なうことができないばかりでなく、会津若松市の財政の力では、この程度までは返済する能力はあるが、それ以上は、貸せないという一定の制限がありますので、無制限な借金は国が許さないことになっていのです。

あり自主的な事業が行なえなから、財政の現状は非常に苦しいというのが会津若松市の姿なのです。

しかし、苦しい財政の現状ですが、その執行にあたっては、あくまで健全財政(黒字財政)を維持するよう細心の注意が払われております。これは過去五年間の決算(昭和三十三年度と三十七年度まで)で三十七年度分は上、目に見えてふえること見込)でもわかるように、市民税、固定資産税、たばこ消費税などがあり、これを一般財源といって、それを金の使途が何も指定されなものでなく、市の自主的な意思で、どんな事業や事務のために使用できる財源です。

今年度約二千万円の減税を実施

ところが、この市税にしても法律で一定の基準が定められていて、その基準にそって納めて頂くことになっていきますから、所得が二倍にも三倍にもならない以上、目に見えてふえること見込)でもわかるように、市民税、固定資産税、たばこ消費税などがあり、これを一般財源といって、それを金の使途が何も指定されなものでなく、市の自主的な意思で、どんな事業や事務のために使用できる財源です。

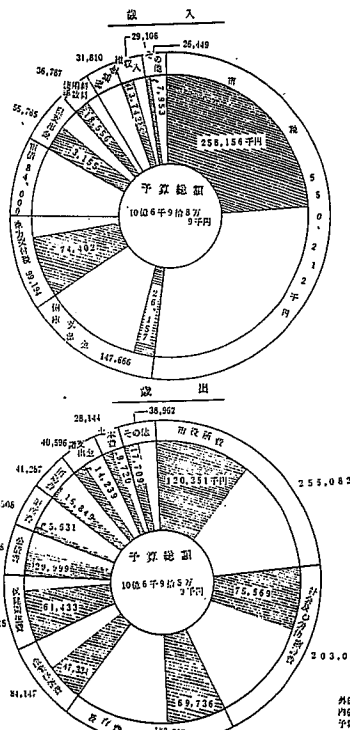
したがって、それが多ければ多いほど経営はらくで収入の枠内で多くの事業を行なわなければなりません。このように、きめられた減税を実施したので、以上が大体のあらましです。

訂正

市税(約五億五千万円)で占められており、次いで地方交付税や国、県からの補助金、国などから借りる長期の借入金(市債)などが目立っております。

一般会計歳入歳出執行状況 (9月末現在) (単位千円)

収入総額 402,121千円
 支出総額 468,470千円
 不足額 66,349千円(一約収入20,000千円と不足248,449千円を補った)の赤字。



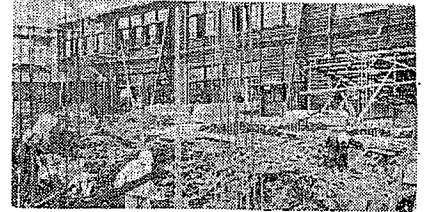
今年度進められている主な事業



消防施設整備(整備費 5,640千円) 火事のない会津若松をめざして消防ポンプ1台が第5分団へ、可燃式ポンプ2台が神指町と湊町にそれぞれ配置された。



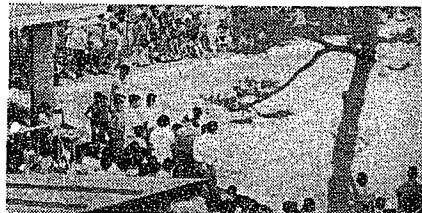
道路改良工事(工事費 5,660千円) 交通対策の一環として道路改良工事が毎年行なわれている。



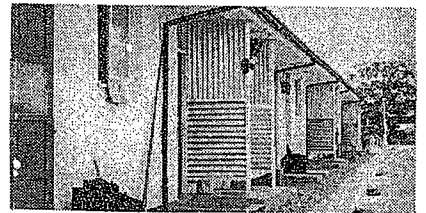
学校建築(事業費63,000千円) 毎平老行校舎は明るいモダンな校舎へと整備を急いでいる。



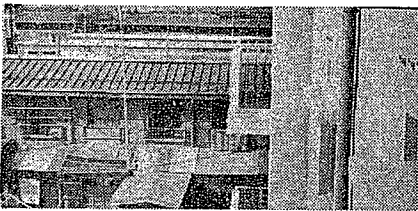
湊公民館改築(事業費 4,660千円) 社会教育の充実をはかるための湊公民館が改築された。



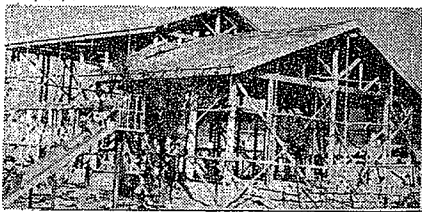
プール建設(建設費 3,600千円) 子供達を水の事故から守るため、今年度は蕨教小と城西小に学校プールが建設された。



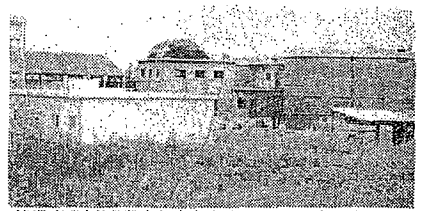
公営住宅(事業費26,150千円) 深刻な住宅難の緩和をはかるため、今年度も新横町地内に耐火構造35戸、木造10戸の計45戸が建設された。



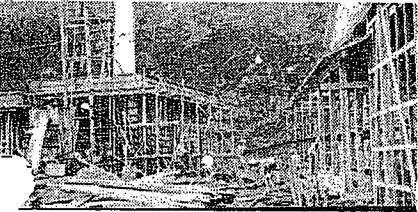
改良住宅(事業費53,120千円) 鶴ヶ丘改良住宅事業は7カ年計画で進められ今年度は60戸が新しく生れかわる。



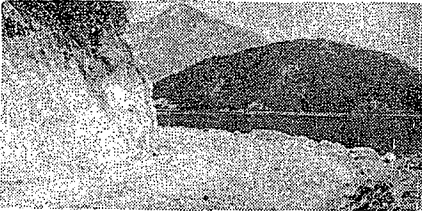
児童館建設(事業費 4,970千円) 学校から隔っても両親が働きに出ている子供達をあずかる児童館が鶴ヶ丘地内に完成されようとしている。



清掃事業(事業費本年度支出分43,820千円) 全国でも屈指のし尿処理場が大川べりに完成しました。1日当り90キロリットル(500石)を処理できる優秀なものです。



火葬場建設(事業費 5,700千円) 門田町黒岩地内には重油ガスバーナー方式による、火葬場が建設される。



笹山林道開設(事業費 6,760千円) 森林の開発をはかるため猪苗代湖の湖畔にそって林道が開発されている。



食肉センター建設(事業費35,240千円) 食生活の向上をはかる上でやすい肉が食肉をにぎわすことになり、市民生活にもつながっています。

第二回	日時及び場所	時間	場所
十一月十九日	午後二時三十分	町北公民館	
十一月二十日	午後二時三十分	高野公民館	
十一月二十一日	午後二時三十分	一箕小中学校	
十一月二十二日	午後二時三十分	校講堂	
十一月二十三日	午後二時三十分	東山公民館	
十一月二十四日	午後二時三十分	神指出張所	
十一月二十五日	午後二時三十分	門田公民館	
十一月二十六日	午後二時三十分	双瀧小学校	
十一月二十七日	午後二時三十分	湊小中学校	
十一月二十八日	午後二時三十分	下雨屋作業所	
十一月二十九日	午後二時三十分	講堂	
十一月三十日	午後二時三十分	大戸小中学校	
十一月三十一日	午後二時三十分	日新小学校	
十二月一日	午後二時三十分	講堂	
十二月二日	午後二時三十分	鶴城小学校	
十二月三日	午後二時三十分	講堂	
十二月四日	午後二時三十分	城北小学校	
十二月五日	午後二時三十分	講堂	
十二月六日	午後二時三十分	城西小学校	
十二月七日	午後二時三十分	講堂	
十二月八日	午後二時三十分	行仁小学校	
十二月九日	午後二時三十分	講堂	
十二月十日	午後二時三十分	体操場	
十二月十一日	午後二時三十分	講堂	
十二月十二日	午後二時三十分	講堂	

インフルエンザを 予防しましょう

インフルエンザは一度流行した場合、私達の生活に大きな影響を与えることはご承知のとおりです。この流行を未然にふせぎ、そろって健康な毎日を過ごすためには、あらかじめ身体に免疫をつけておくことが必要となります。衛生課では次により予防接種を行ないますので多数受けられるようおすすめていたします。

一、接種を受けることが出来る人 生後三ヶ月から
二、接種をしてはならない人 鶏卵に対するアレルギー(過敏性) 体質の人
三、接種方法、接種量及び手数料
年令 接種量 方法 手数料
一才未満 一回につき 約七日の間隔 一回につき
一才以上 一回につき 約七日の間隔 一回につき
六才以上 一回につき 約七日の間隔 一回につき
十五才以上 一回につき 約七日の間隔 一回につき

四、日時及び場所

ただし、生活保護法による被保護者は手数料を免除します。